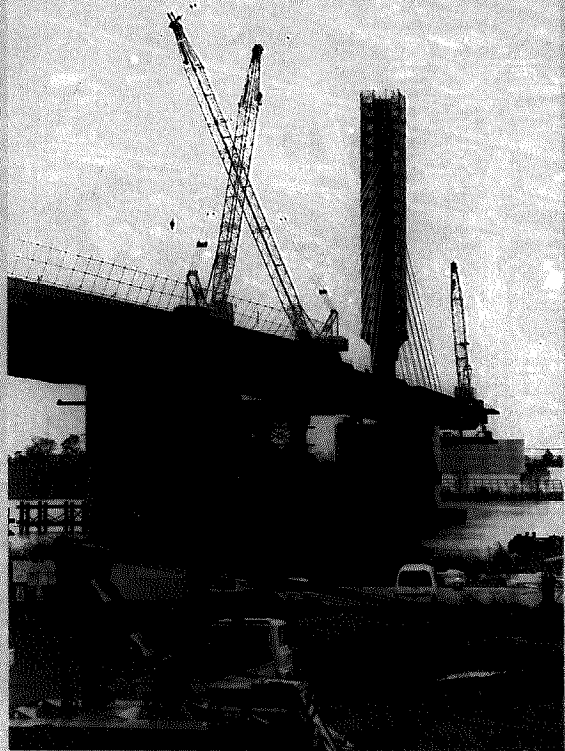
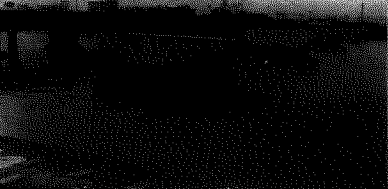


北陸自動車道の延長工事。町道寺地立仏線でのボックス工事。



工事中の北陸自動車道・信濃川橋(仮称)

架け替え工事中の帝石橋。向こう側が現在使用されている帝石橋。新潟市側から撮影。



平成元年5月で30年の歴史を閉じた自動車運転免許試験場のあとには、新潟県的一大観光拠点「新潟ふるさと村」が3年7月にオープンした。

道

町が 変わる

黒埼町に越して来た人は、一、二カ月ならわからないかもしれないが、一年もたてば、「変化の激しい街だな」と思うだろう。近所にスーパーマーケットが出来たり、水たまりの道路が舗装になったり、あるいは去年は鳴いていたヒバリの声が聞こえなくなったり、変化を感じさせてくれるのがこの町だ。...

二年前の広報くろさき一九八九年七月号で書かれたとおり、黒埼町は変化の激しい町だ。そのことはこの二年半でも変わりはない。そして、これからも変わらないようだ。

今月号では、黒埼町を変えてしまうような大きな事柄などについて紹介しよう。

1

進む北陸自動車道の延長工事 町内の道路も整備進む

新潟ふるさと村の河川敷の広場から信濃川の下流を眺めると、橋の建設工事が進んでいるのが見られます。北陸自動車道の信濃川橋(仮称)です。

この橋は日本道路公団が建設するもので、長さは三七三・五五メートル。新潟ふるさと村や上越新幹線などからもよく見える橋でもあるため、美観も考慮して「一柱式斜張橋」という方式が採用されました。工事は平成元年度から始まり、平成五年度に完成する予定です。

この信濃川橋の工事も含んで行なわれる北陸自動車道の延伸工事は、新潟西インター(立仏、北陸自動車道・新々バイパス・新潟西バイパスを結ぶ)から新潟市江口の新潟東インター(仮称)までの十二・一キロ(黒埼町二・一キロ、新潟市九・七キロ、亀田町一・三キロ)で行われます。工事は日本道路公団が行ないます。新潟中央インター(仮称、新潟市鐘木)で東北横断自動車道いわき新潟線と結び、新潟亀田インター(仮称、亀田工業団地の北側)では国道四十九号線とつながります。また、新潟東インターからは、将来建設が予定されている日本海沿岸東北自動車道につながるようになります。

現在、黒埼町内では、鳥原料金所から黒埼インター手前までの工事が進められて

道

います。新々バイパスから信濃川橋までの区間は、これから地元で工事説明が行われる予定です。

新しい帝石橋は平成五年度から片側通行できるように

信濃川にかかる橋では、帝石橋(県道新潟黒埼インター線)が現在より下流に新しく建造されています。延長二八九・八メートル、幅員三三メートル(歩道つき)です。平成五年度に片側が通行できるよう工事施工中です。工事は新潟土木事務所が行います。

主要地方道(県道)新潟寺泊線は北陸自動車道料金所下手から町道鳥原寺地線までの約八百メートルが平成二年に完成。町道鳥原寺地線から善久の国道八号線までの区間を現在、測量中です。

また、国道八号線の大野大橋のかけかえも行われる計画です。現在、周囲との美観を含め、調査中です。

町道では、鳥原寺地線が寺地西団地脇から立仏までの改良工事が終わり、今年六月から使用されています。

鳥原寺地線の残り部分については、平成五年度以降に事業ができるように、準